

# 「スーパージュニア選手育成プログラム2021」 体験プログラム①

スーパージュニア選手育成プログラム2021のトライアル（選考会）については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止にしましたが、感染状況が落ち着いてきたのでトライアルに申し込みがあった方を対象に、希望調査を取り、体験プログラムを実施しました。

11月13日(土)の体験プログラム①は、ボウリングを行いました。

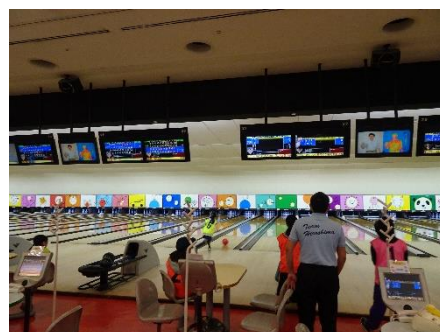
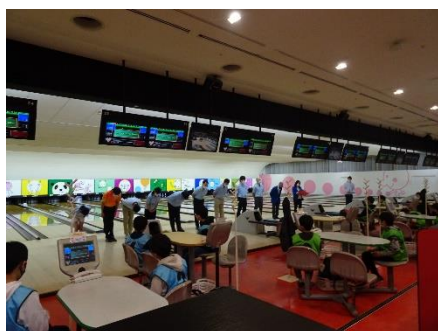
体験プログラム①のボウリングは、広島県ボウリング連盟のご協力のもと、広島市中区の広電ボウルで開催しました。

開会行事では、公益財団法人広島県スポーツ協会の堂本ひさ美常務理事（強化副委員長）から、挨拶をいただきました。



最初にボウリングの基本的なルールを教えてくださいます。日ごろ家族や友達とゲームを楽しむ時とは違って、今回はスポーツとしてのボウリングを体験するため、ルールもしっかり意識しなくてはなりません。続いて、国体でも活躍している指導者の方々や小中学生の選手の模範投球を見せていただいた後、しっかり準備運動をして投球フォームの練習です。はじめはボールを持たずに正しいフォームを身に付けます。フォームがさまになってきたところで、いよいよ自分に合ったボールを持って、練習投球開始です。

実際にレーンにボールを投げてみると、さっきまでできていたフォームが崩れてしまう選手たち。ボールを変えたり、指導者の方に沢山質問をしたりしながら修正をしていきます。



練習投球が終わると、ゲーム形式で2ゲームのスコアをとりました。

力のあるボールでストライク・スペアを取る選手もいれば、狙ったとおりにいかず悔しい表情をみせる選手も。お互いに良かった時はハイタッチで喜びあう姿も印象的でした。個人競技のイメージが強いボウリングですが、国体など様々な大会で団体戦があるので、こうしてチームを盛り上げる雰囲気は大切です。

今回、ボウリングをしたことがある選手は沢山いましたが、スポーツとしてのボウリングの体験は新鮮だったのではないのでしょうか。時間の関係上、一投目の投球しか教わることはできませんでしたが、奥の深いボウリングに興味を持って、スポーツとして競技として続けていく選手が出てくると嬉しいです。